

名門静岡野球部の 3 年間の想い出

興津 達雄

昭和 27 年名門静岡野球部が甲子園で春の選抜野球大会で驚異的な記録で優勝しました。大優勝旗と共に選手たちが静岡駅に帰ってきたとき、駅前は何万人の人たちが優勝パレードを見るために集まっていました。私もその中の一人で、胸躍らせ興奮していました。4 月に入学し、焼津中学野球部同級生 4 人と静岡野球部に入部し、すぐに練習に参加しました。

翌日から厳しい練習が始まりました。名門静岡にはこれくらいの厳しさは当たり前、毎日暗くなるまで練習し、家に帰るのが十時過ぎでした。それでもその厳しさに耐え、何としても甲子園に行きたいと願い、家に帰ってもバットスイングは欠かしませんでした。

当時上級生からお説教は毎日のようにあり、これに耐えていかなければ甲子園にいけないと思い、努力してきました。これも愛の鞭人としても多くのことを教えていただきました。

努力の甲斐あって、一年生からベンチ入りし、3 年生の夏の大会（当時の山静大会）に優勝し、甲子園に行くことができ、喜びもひとしおでした。予想は 1 回戦で負けるだろうと、誰もが思っていたようですが、次々と強豪校を倒し、決勝まで進み、優勝候補の中京商業に 3 対 0 で負け準優勝でした。3 年間の努力が実ったと思い、別に悔しくもなく涙もなかった。

翌日、静岡に帰るため、午前中の急行列車に乗りました。車中では、選手同士が大会を振り返り楽しんでいたが、マネージャーから選手は全員ユニフォームに着替えるように指示があった。何事かと思いいながら着替えて、静岡駅ホームに降り立ったときに驚きました。ホームには大勢の迎えがあり、感激し涙がでそうになりました。

静岡駅を出ると、何千何万の人たちの歓迎を受けました。あの昭和 27 年の優勝パレードと同じ光景でした。静岡野球部に在籍していたことを誇りに思いました。これも当時の校長先生をはじめ、各先生方のご協力と応援のおかげでした。

さらに、同級生（現五十六会）が甲子園まで野宿までして、応援してくれたことに感謝しました。これからの静岡野球部の活躍を期待します。名門野球部の復活を！



秋の大丸山・

鎌倉天園・鎌倉湖

ウォークを楽しむ

吉澤 英夫（S 38 年卒）

昨年の秋日の 10 月 27 日の土曜日、「歩く会」の織部会長以下総勢 26 名（内、男性 18 名、女性 8 名）内、2 名が夫同伴が、JR 根岸線の港南台駅に午前 10 時に集合。

織部会長が挨拶した後、横浜栄高校・瀬戸市民の森・大丸山・横浜自然観察の森センター・鎌倉天園・鎌倉湖（バス移動）JR 大船駅までの約 17 キロのウォーキングを楽しんだ。

若人が「横浜栄高校グラウンド」で、野球・サッカー練習などに熱心に取組んでいる姿を眺めた後、「瀬戸市民の森」までのなだらかな里山を暫く歩いた。同森の広場で、トイレタイムを取った後、ストレッチ体操を入念に行い、一路「大丸山」（横浜市で一番高い山 155.6 m、8 m）へ向かった。「大丸山」までの尾根道は、やや急な登り道が多く、かつ、左右木々に覆われた昼なお暗い道や、見通しの良い道に出た途端に、左は森林、右は住宅が立ち並ぶなど変化に富んだ山道であった。歩きながら秋の紅葉の木々を探したが、かえってうるし・もみじなどの落葉樹が少なく、期待外れだった。

途中、馬頭の丘休憩所・見晴台休憩所を経由し、「大丸山」へ登った。頂上からの眺めは、素晴らしく、近くは金沢区追浜

の町並や、八景島シーパラダイスの乗物や建物が、遠くは千葉県の海岸線までも展望できた。

「大丸山」を下りて、横浜市の南端、鎌倉市との境にある「横浜自然観察の森センター」には、12 時半に到着。周囲の金沢市民の森と一体となった市内最大の森のベンチに腰掛け、柔らかな秋風を受けながら、おにぎりやサンドイッチなどの昼食を取った。昼食後、全員で記念写真を撮った後、鎌倉市の最高山の大平山（159.2 m）を抜けて、鎌倉天園に向かった。

鎌倉天園では、残念ながらあまりに薄雲りで、富士山・伊豆半島を遠望できなかった。小休止の後、鎌倉湖（散在ヶ池）に向かったが、やや急な登り道や下り坂があり、喘ぎ喘ぎ歩く人も見られたが、全員何とか無事、鎌倉湖に午後 2 時 50 分に到着（同池は、大船や岩瀬の水田を満たすために江戸時代に山を切り開いて造られた人造湖）。同池には、大小様々な色をした鯉数十匹（大きいものは 70、80 cm）が悠悠と泳いでいた。

最終目的地の JR 大船駅までは、バスで移動。同駅の近くの居酒屋で反省会（20 名が参加）と称して冷たいビールなどで喉を潤し、暫く懇談した後、来年の春、元気で再会することを約して午後 5 時に散会。



春の相模川を歩く

織部 忠義（S 32 年卒）

今年的大型連休初日の 4 月 2 日（土）10 時に小田急電鉄「海老名駅」に 16 名が集合（内女性 4 名）。JR 海老名駅を通り抜け相模川に向かつて歩きはじめ、最初に相模国最古の神社と言われる「有鹿（あるが）神社」に参拝しました。広い境内をお借りして既に少し歩いた後なので、リーダーの号令で足（脚）を中心に準備体操を軽く行いました。

神社のすぐ裏に有る相模川の土手を歩き約 10 分程で神奈川県立三川（さんせん）公園に到着。公園の中央に有るぐると芝桜に包まれた見晴らしの良い円錐形の丘の頂上から相模川とその向こうに大山をはじめ東丹沢の山々の素晴らしい景色を見ることが出来、好天に恵まれたことを実感しました。少し休憩をとって相模川の土手（堤防）を上流に向かつて歩くと国道 246 号線の大きな橋がありその下をくぐり抜けて行くことに時近くになりましたので、木陰の涼しいベンチの有る所でお弁当をいただきました。

昼食後更に芝桜ラインを目指して上流へ。芝桜は堤防の内側に移植されて数年が経過しているので期待して来ましたが、もう時期が終わりに近かったのと手入

れがあまり良くなく少し期待外れで残念でした。しかし河川敷で小学生の風揚げ大会を見ることが出来て元気を頂きました。大風揚げの祭りが 5 月 5 日頃に予定されており河川敷のあちこちに作りかけの大風の骨組みを幾つも置かれてあるのを見て祭りに来てみたいなと思いました。

相模川に合流してくる支流の鳩川の「三段の滝」や変わった形の橋を渡り、公園で一休みして高台の道路まで急な階段を最後の力を出して登ると最終地点の JR 相模線の「下溝駅」はもうすぐ近いです。相模線で「海老名駅」まで戻り解散しました。好天に恵まれ爽やかな空気を吸って全員が無事約 10 km を完歩出来大変良かったです。その後、有志で反省会を駅前のお店で楽しく行い次回の秋のコースなど話し合いました。

